

2018年度 東北学院大学 日本史 解答速報(2月1日実施分)
全学部型(文・経済・法・教養学部の全学科・全コース)

解 答

1.

問1. (1)オ (2)サ (3)セ (4)ク (5)ウ

問2. (6)キ (7)オ (8)ス (9)ウ (10)ケ

問3. (11)ケ (12)オ (13)サ (14)カ (15)ソ

2.

問1. (1)ア (2)エ (3)ウ (4)コ (5)ヌ (6)カ (7)チ (8)ヨ
(9)サ (10)ハ (11)シ (12)ヤ

問2. ア・ウ

問3. オ

問4. イ

問5. ア

問6. エ

問7. ウ

問8. イ

3.

問1. (1)ソ (2)ク (3)シ (4)オ (5)サ (6)ツ (7)セ

問2. ア - 正 イ - 誤 ウ - 誤 エ - 誤

問3. ア・エ

問4. イ・ウ

講 評

1.

古代の政治と文化を中心とした問題。15 個の問題のうち、「教科書 8 冊中、8 冊に記述されている語」が 9 つ。

その他の 6 つも、教科書の 7～5 冊に記述されているので、教科書での学習で十分に対応できる。ただし、文化史に手がまわらなかった受験生は、(6)～(12)で困ったかもしれない。

2.

中世と近世の政治と経済を中心とした問題。問 1 の 12 個の問題のうち、「教科書 8 冊中、8 冊に記述されている語」が 4 つ。7～5 冊も 5 つ。大問 1 と同じく、教科書を中心とした学習で十分だが、(10)、(11)の史料問題はやや難問。問 2 と問 4 が関連する問題、問 6 が、「織田信長の楽市令」を理解していればわかる問題。この 2 つで差がつくであろう。

3.

幕末から昭和初期の総合問題。問 1 の 7 つの問題のうち、「教科書 15 冊以上のうち、すべて 13 冊以上に記述」されている。

問 2 は、不平等条約の内容を理解していれば容易。問 4 は、数字(年代)を暗記していたのかどうか。問 3 も「青木周蔵^{あおきしゅうぞう}」の理解さえあれば問題なしと思われる。